

## 学 位 論 文 要 旨

### 研究題目

Characteristics and prognostic impact of unsuccessful recanalization after endovascular therapy for acute ischemic stroke

(緊急血管内治療における再開通不成功の臨床的特徴と転帰に及ぼす影響)

兵庫医科大学大学院医学研究科

医科学専攻 環境病態制御系

臨床研究学 (指導教授 森本 剛)

氏 名 藤原 悟

### 【背景】

急性期脳梗塞に対する緊急血管内治療(Endovascular therapy, EVT)は現在最も重要な治療法だが、一定の割合で有効再開通を達成できない症例を経験する。本研究はこのような再開通不成功例の特徴や転帰への影響を調べることを目的とした。

### 【方法】

RESCUE-JAPAN Registry 2 (2014 年 10 月から 2016 年 9 月に、日本国内 46 施設に入院した発症 24 時間以内の LVO 症例を登録したレジストリ) のサブ解析。登録症例を、EVT を受けて再開通を達成したもの (Successful EVT 群)、EVT を受けたが再開通できなかったもの (Unsuccessful EVT 群)、EVT を受けず内科治療単独による治療を受けたもの (No-EVT 群) の 3 群に分類。EVT 適応の選択バイアスを考慮してプロペンシティスコアマッチングを行った Unsuccessful EVT 群と No-EVT 群を用いて、臨床転帰を比較した。アウトカムは発症 90 日後の modified Rankin scale (mRS) と発症 72 時間以内の出血性合併症と定義した。

### 【結果】

2,408 例が解析対象。うち Successful EVT 群 1,093 例、Unsuccessful EVT 群 188 例 (EVT 施行例の 14.7%)、No-EVT 群 1,127 例であった。No-EVT 群と比較して、Unsuccessful EVT 群では発症 90 日後の mRS 0-2 の達成が有意に低く (23% vs. 34%; OR 0.58, 95% CI 0.35-0.98)、死亡が多く (16% vs. 6.8%; OR 2.54, 95% CI 1.16-5.55)、また発症 72 時間以内の症候性頭蓋内出血が多かった (5.4% vs. 0.7%; OR 8.40, 95% CI 1.04-68.1)。

### 【結論】

EVT 後再開通不成功に終わった患者は、EVT を受けず内科治療のみを受けた患者よりも転帰が不良であった。再開通不成功を予測する方法を開発して EVT 適応や手技中断のタイミングを最適化することが、転帰改善に重要になる。